



熊本震災支援報告

報告：愛媛生協病院 水本潤希医師

4/25～28まで、熊本民医連くわみず病院のある地域を中心に、支援に入りました。現地の状況や、当時何が必要とされていたのかについてまとめます。

震災から10日以上経ち、外来や救急は上気道感染・尿路感染が多く通常とあまり変わらない様相でした。ただ、よくみると、避難生活中の高齢者の認知症が悪化し避難所に居づらい、埃っぽくドアが開けっ放しなので風邪が悪化した、精神疾患のある方が避難生活が長くなって体調を崩している、という様子が聞き取れました。また、薬を服用できずに血圧が高くなっている、炊き出しのご飯で血糖コントロールが悪くなった、という方も多くいました。

避難所は、体育館など建物内だけではなく、車中泊・テント泊が多いのが特徴でした。震災10日後にテントが設置され、それまで車中泊していた方がようやく足が伸ばせたようでした。テント・車中泊が多いため、誰がどこに居て、どこに医療支援の必要な人がいるかの把握が困難で、保健所とともにそのような方々へのアプローチも行いました。ただし、夜だけ車中泊、日中は仕事に出ているなど、支援者の見回り時には不在というケースも多く、ニーズの掘り起こしには課題が多くありました。テント内で虫に咬まれた、家にコルセットを置いてきて腰が痛くて動けない、ずっと飲んでいた抗不安薬の手持ちがない、被災しながら休まず仕事をしている夫を不安に思っている、夜に喘息発作が出る、という声を聞き取り、その都度、適切な団体につなぎました。



直下型地震の特性上、全壊・半壊世帯は集中していました。当時大きな問題になっていたのはゴミ処分です。処分場がいっぱいのため被災ゴミを捨てる場所がなく、家の中が片付かない、道路脇にゴミが山積み異臭がする、という状態でした。また、日中は家で夜は庭の車で、という生活形態の方もおり、自主避難・自宅避難者には支援が届きにくいという問題も起こっていました。

公共団体や医療・介護機関の職員の中には、車中泊・避難所暮らしをしながら支援を行っている方もおられ、疲労はピークに。いかに現地職員の休息を確保するかというのも、支援の重要な役割でした。

地震発生から3カ月が過ぎましたが、社会的弱者を中心に今後も避難者の困難が容易に予想されます。息の長い支援が必要です。



Facebook「えひめ医系学生サポートセンター」「愛媛生協病院初期研修」「愛媛生協病院」「新居浜協立病院」検索してください。いろんな取り組み等がアップされています！

Topics!

看護学生

たま cafe 開催♪

毎月開催されている、看護奨学生会議(通称=たま cafe)を6月25日(土)愛媛生協病院にて開催しました!

今回のテーマは「原発」について。生協病院の内科医・河野文朗先生を講師に、原発事故から5年が経過し、現在の福島第一原発はどうなっているのか?再稼働に向けた動きはどうか?伊方原発の再稼働に向けた動きは?熊本地震から学ぶことは?ともりだくさんの内容で講演していただきました。愛媛県にある伊方原発は6月23日に燃料装填、7月23日には再稼働といわれています。先日の熊本地震では、壊れた家の中にいるのが恐く、車中泊をする人が多くいました。伊方原発が事故を起こしたら、屋内退避(家の中でじっとしている)が命じられると言われていますが、大規模な地震が起こったら、屋内退避どころではありません。原発再稼働か、新たなエネルギー政策へシフトチェンジするか、1人ひとりがよく考える必要があります。

今回の中四国DANSは8月18日~19日島根県松江市にて開催されます!是非、一緒に参加しませんか??

愛媛医療生協 学生サポートセンター

愛媛大学医学部近くのシトラスヒルズ101号室にあるサポートセンターにて毎週水曜日12:00~13:00ランチミーティングを実施中です。お友達誘いあわせて来てくださいね。医学生・薬学生・看護学生みなさんの参加をお待ちしています!!

医学生

連続学習講座「縫合体験」

6月29日(水)医学生対象に連続学習講座「縫合体験」をしました。愛媛生協病院 外科の塚本先生の指導のもと、医学生が5名参加(1~3年生)。はじめに縫合糸の種類、糸の使い分け、縫い方等の説明があり、まず練習用スポンジで縫合、ステップアップして、「鶏もも肉」を使って練習しました。参加者全員はじめての縫合体験で、真剣に黙々と時間を忘れて打ち込んでいました。縫合の完成度を塚本先生に評価してもらい点数をつけてもらいました。とても充実した時間を過ごせたようです。縫合した「鶏もも肉」はきちんと



抜糸して照り焼きチキンに変身、おいしく頂きました。「針の通し方が難しかった」と感想。学生さんの要望を聞きながら、また企画したいです。

薬学生

「薬害」について学ぶ

6月24日(金)薬学生奨学生会議を開催しました。今回のテーマは『薬害』についてです。新居浜協立病院の石井薬剤科長を講師に、日本で起きている薬害について学びました。主に「子宮頸がんワクチン」に焦点をあて、学習をしました。子宮頸がんワクチンの接種者の中には、突然記憶障害や歩行障害になった事例が報告されています。自分と年が変わらない人が薬害の被害者になっていることに学生も驚いていました。

8月24日は薬害根絶デーです。毎年東京で薬害根絶デーのつどいが開催されています。参加してみませんか?



↓お問合せはこちらまでどうぞ↓

●愛媛県民医連事務局●

Tel:089(990)8677

(小笠原、林、坂本、村中)

Mail:a-ogasawara@ehime-med.org